

表彰区分	マロニエ建築賞・マロニエ建築賞 環境にやさしい建築賞	
作 品 名	株式会社ナカニシ新生産工場 M1	
所 在 地	鹿沼市下日向 700	
用 途	工場	
建 物 概 要	構造： S 造	敷 地 面 積：47,554.85 m ²
	階数： 地上 4 階、地下 0 階	延 べ 面 積：20,465.79 m ²
建 築 主	栃木県鹿沼市下日向 700 株式会社ナカニシ	
設 計 者	東京都渋谷区千駄ヶ谷 2-36-7 MET 株式会社	
施 工 者	埼玉県さいたま市大宮区吉敷町 1-75-1-5F 前田建設工業株式会社 関東支店	

講 評

歯科用ハンドピースの分野で世界トップシェアをもつ企業の新工場である。鹿沼市郊外の小高い山林を背景にした本社敷地内に、既存工場群を集約し生産体制を強化する目的で建てられた基幹工場という位置付けの建物となっている。外装に断熱パネルを採用することで建設コストを抑えつつ、開口部やディテールの工夫で合理的かつ洗練された外観を作り出している。建物配置の配慮や防災対策を含めた床レベルの設定により西側の美しい自然環境と建築物が引き立て合う関係を作っていることは特筆に値する。工場の主役は生産のための空間であるが、それをバックアップするための休憩休息の空間の設定にも配慮がゆき届き、労働環境を重視する姿勢が反映されている。また、基準を超える高い断熱性能を達成した計画や太陽光発電設備を屋上に設置することなど、カーボンニュートラルへの積極的な取り組みについても併せて評価された。総じて、自然環境との調和や働く人たちの環境の向上、サステナビリティへの取り組みなどについて、高度なレベルで達成した計画といえる。本県は大規模な工場が多く立地しており、その見本となるような質の高い建築物であることが高く評価された。



©千葉顕弥

表彰区分	マロニエ建築賞 優良賞	
作 品 名	真岡市複合交流拠点施設 monaca	
所 在 地	真岡市荒町 5131 外	
用 途	図書館、子育て支援施設、地域交流施設、カフェ	
建 物 概 要	構造： S 造	敷 地 面 積：4,199.07 m ²
	階数： 地上 4 階、地下 0 階	延 べ 面 積：7,144.87 m ²
建 築 主	栃木県真岡市荒町 5191 真岡市長 中村 和彦	
設 計 者	東京都港区港南 1-2-70 株式会社アール・アイ・エー	
設 計 者	栃木県宇都宮市明保野 2-10 AIS 総合設計株式会社	
設 計 者	東京都中央区京橋 2-16-1-14 清水建設株式会社	
施 工 者	東京都中央区京橋 2-16-1-14 清水建設株式会社 東京支店	
講 評	真岡市街地東部、市役所の斜向かいに位置する図書館・子育て支援を中心とした複合交流拠点施設である。街から直接多目的に使われる 1 階のスペースに直接アプローチでき、そこから中央の階段を介して上階へすんなりとアクセスできる。2 階の子ども図書室や子ども広場、3 階の一般開架室は吹き抜けでつながり一体感のある空間となっていて、全体の構成が把握しやすくなっている。異なる要素や機能を持つ場をシームレスに繋ぎ、市民同士が認め合い配慮し合う空間となっているとの意見がある一方で、市民参加型の日常の場としては、空間構成が硬直していて多様な人たちが同時に過ごすための空間のバリエーションが少なく、参加を促すデザインとして不十分ではないかとの意見があった。この施設は、設計・建設・運営を一括して発注する DBO 方式の採用による体制で進められたことが特徴的であり、建物というハードウェアに止まらず、今後市民によって育てられていくことへの期待を含めて評価された。	
 ©株式会社川澄・小林研広建築事務所		

表彰区分	マロニエ建築賞 優良賞	
作 品 名	宇都宮短期大学附属高等学校 建替計画 新 1 号館及び職員室・自習室棟	
所 在 地	宇都宮市睦町 1-35	
用 途	学校	
建 物 概 要	構造： S 造	敷 地 面 積：22,130.80 m ²
	階数： 地上 3 階、地下 0 階（職員室・自習室棟） 地上 7 階、地下 0 階（新 1 号館）	延 べ 面 積：9,412.33 m ²
建 築 主	栃木県宇都宮市睦町 1-35 学校法人須賀学園	
設 計 者	東京都江東区新砂 1-1-1 株式会社竹中工務店	
施 工 者	東京都江東区新砂 1-1-1 株式会社竹中工務店	

講 評

宇都宮市街地西部に立地する私立高校のキャンパス再編計画である。一部既存校舎を撤去し、新たな 2 棟を挿入することで、将来への対応を目指している。正門を入ると正面が新設された職員室・自習棟になっていて、全面透明ガラス窓より外部から見通せるようになっている 1 階の職員室に迎えられる。極めてアクセスしやすい場所に教員のデスクがすっきりと並んでいて、生徒たちが気軽に先生方のところを訪れ話すことができる場になるよう計画されている。その上階はサードプレイスとして様々な生徒を受け入れるインクルーシブで開かれた場としていることも極めて特徴的である。この棟の外壁面はレンガの透かし積みスクリーンとされていて、室内に柔らかな光を導入しながら、伝統と新しさを同時に演出している。奥まった場所にある新 1 号館は、普通教室や教科教室がまとめられており、限られた敷地のなかで合理的な配置計画や構造計画を追求することにより、教育環境の質的な担保が図られている。既存のキャンパスに手を加えて、これからの時代にどのような学校としていくのか、新しく刷新していくもの残していくものの明確化が光る計画として評価された。



表彰区分	マロニエ建築賞 優良賞	
作 品 名	白鷗大学足利中学校・高等学校	
所 在 地	足利市伊勢南町 4-3	
用 途	学校	
建 物 概 要	構造： RC 造（一部 S 造、SRC 造）	敷 地 面 積：13,583.76 m ²
	階数： 地上 4 階、地下 0 階	延 べ 面 積：11,395.74 m ²
建 築 主	栃木県小山市駅東通り 2-3-5 学校法人白鷗大学	
設 計 者	東京都中央区日本橋小網町 6-1 株式会社山下設計	
施 工 者	東京都中央区京橋 2-16-1-14 清水建設株式会社	
講 評	足利駅に程近い渡瀬川に沿った敷地に建つ私立中学高校校舎である。二つの校地をまとめて、この地に中学高校を集約しての新築計画となっている。連携校である中学校と高校を分離せず、お互いに刺激し合えるような関係になるよう同じフロアを使い分けるようにしている。L字型に中高生が交差するエリアの中心に図書室と連続する形で3層吹き抜けのラーニングコモンズを設けて、学校活動の中心として読書や展示、学習・交流機能を持たせている。北側の道路際には大きなボリュームをもつ体育館を配し、その下には学習室などを広く設けて、生徒の自主的な学習効果を高めている。ラーニングコモンズの屋根には地元産の木材による平織りをモチーフにした架構を用いて、この空間の象徴的意味合いとトップライトとしての効果を演出している。限られた敷地条件を十分に生かし、活動的な教育の場として効果的かつ緻密に作り込まれた校舎となっていることが評価された。	
		

表彰区分	マロニエ建築賞 優良賞	
作 品 名	巣のような家	
所 在 地	那須塩原市	
用 途	専用住宅	
建 物 概 要	構造：W 造	敷 地 面 積：328.60 m ²
	階数：地上1階、地下0階	延 べ 面 積：101.30 m ²
建 築 主	個人	
設 計 者	埼玉県さいたま市浦和区岸町 4-14-4 株式会社川島真由美建築デザイン	
施 工 者	福島県郡山市富田町字権現林 3-4 株式会社オオバ工務店	

講 評

黒磯駅から徒歩圏の住宅地に建つ戸建て住宅である。通りから望むと窓は少なく、黒っぽい壁面に囲まれた外観はそっけなく地味な印象である。道路からは塀など隔てるものではなく、敷地の周囲に余白を残しながら建っている。室内に入るとそういった外部の印象と大きく異なっている。リビングやダイニングといったパブリックな場を中心に、周辺部にプライベートな場を配していて、それらが一つの空間に包み込まれる感がある。平面的には変形の K 字型であり、直線的に伸びた部分に 2 箇所の出っ張りがあるだけなのであるが、空間的に中央部の高さを高く設定することで、前記のような効果を出している。開口部は絞られていて、燦々と陽を室内に入れるというより、絞られた開口部から入った外光が乱反射しながら柔らかに室内を満たしている。一つの大きな空間の中に様々な居場所をつくって、日常の家族の生活を包み込むまさに巣ごもりの心地よさを感じる家になっており、プライベートな活動に重きを置く新しい時代のライフスタイルに対応する住宅として評価された。



©矢野紀行